

SARS-CoV-2 ワクチン接種におけるIgG抗体定量検査について

ワクチンから作られる抗体

ワクチンを接種することで、コロナウィルスが、人の細胞に感染するために必要な**スパイクタンパク質をブロックする抗体**が産生されます。

コロナウィルスの
スパイクタンパクを
コードした mRNA

mRNA を
筋肉注射で投与

ワクチンが
スパイクタンパク質の
産生を促し
抗体が産生される

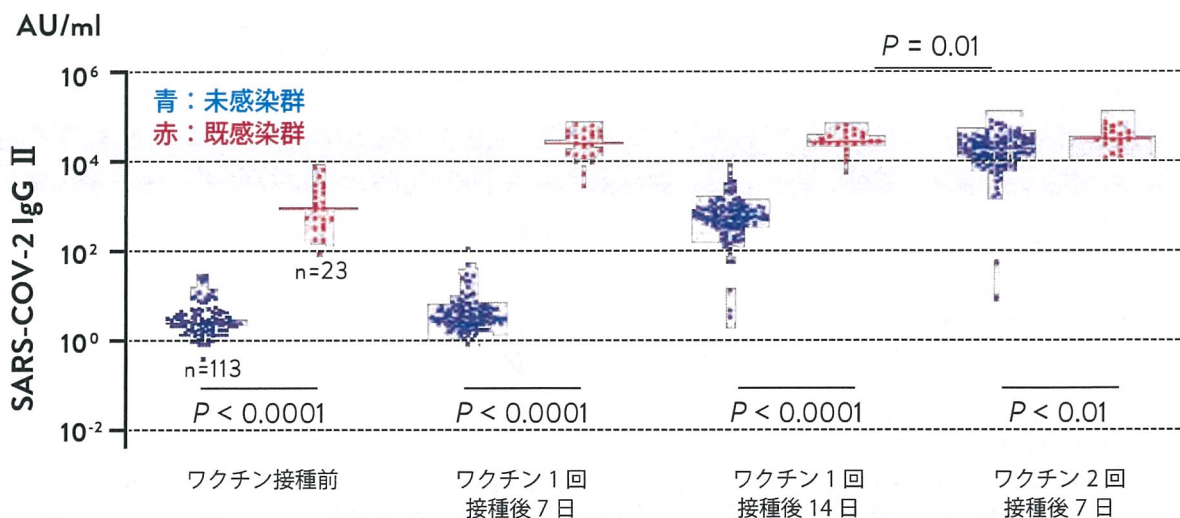


IgG 抗体定量検査試薬

【試薬名】 ARCHITECT SARS-CoV-2 IgG II Quant（研究用試薬）

【製品概要】 ヒト血清および血漿中の SARS-CoV-2 の

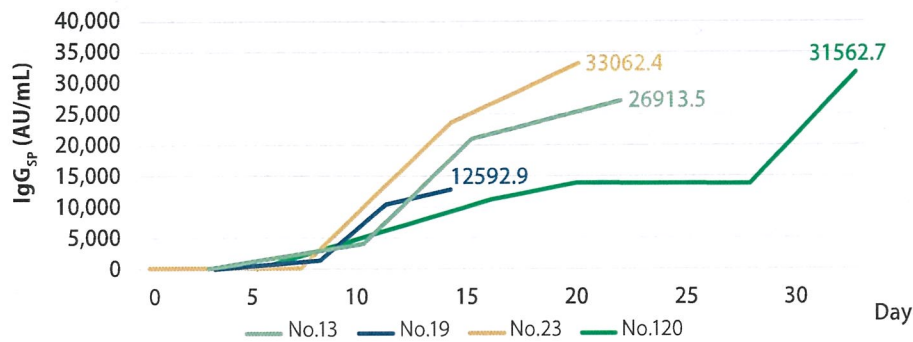
スパイクタンパク質に対する IgG 抗体を定量的に
測定する試薬です。



未感染者の場合、ワクチン1回接種後14日の中央値は約 1,000AU/mL
2回接種後7日の中央値は約 22,000AU/mL と報告されています。

回復者血清における抗体価の推移

回復者血清にて IgG 抗体の測定をしたところ、高力価の抗体値も定量的な算出が可能でした。

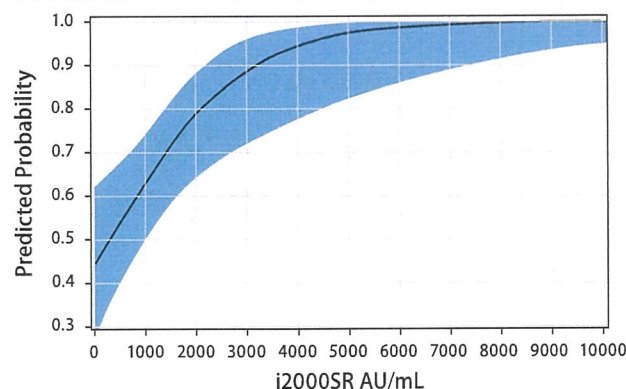


プラーク減少中和試験 (PRNT) 高力価との比較データ

代表的な高力価として 1:250 希釈の PRNT ID50※を使用した確率プロファイルの例では 95%信頼区間で 4,160AU/mL でした。

※ウイルス量を 50% まで減少させることを確認する試験 ワクチンの効果判定で最も良く使われる指標。

SARS-CoV-2 IgG AU/mL	Probability of High Titer	95% CI
2150	0.80	0.65, 0.90
3200	0.90	0.73, 0.97
4160	0.95	0.78, 0.99
6350	0.99	0.87, 1.00



【受託要項】

依頼コード	検査項目名	検査材料 検体必要量 (mL)	容器	保存	基準値	所要日数	実施料 判断料	備考
13616(親) (子)22782 (子)22783	コロナ抗体 IgG 定量 健診 判定 定量値	血清 0.5	B1 遠心 S1	冷蔵	判定:(-) 定量値: 50.0AU/mL 未満	1~3	未収載	※1
13617(親) (子)22784 (子)22785	コロナ抗体 IgG 定量 臨床 判定 定量値	血清 0.5	B1 遠心 S1	冷蔵	判定:(-) 定量値: 50.0AU/mL 未満	1~3	未収載	※2

- ※1 ・健診などの受診者検体用としてご使用ください。
・検体は、通常時検体と同様に、ご提出ください。
- ※2 ・新型コロナウイルス感染患者検体につきましては、医療機関にて 3 重梱包し、ご提出ください。
・新型コロナウイルス感染疑い患者検体の取り扱いにつきましては、通常時検体と同様に提出ください。なお、新型コロナウイルス感染を強く疑う患者検体 (PCR 検査について保健所へ相談、あるいは PCR 検査所へ紹介する必要がある患者の臨床検体) につきましては、医療機関にて 3 重梱包し、ご提出ください。